

---

## 学会活動報告 —2013 年度—

---

### 『岐阜経済大学論集』の編集・発行

第 47 卷 第 1 号 . . . . . 2013 年 10 月

第 47 卷 第 2・3 号 (新家 茂教授 成田幸範教授 中西靖忠教授 記念号)  
. . . . . 2014 年 3 月

### 研究会/報告会等

国内留学報告会 2013 年 6 月 19 日 (水)

報告者: 山 田 善 久 経営学部教授

テーマ: 「ドイツ語コーパス処理ソフトウェアの開発」

国外調査研究報告会 2013 年 6 月 19 日 (水)

報告者: 高 橋 信 一 経営学部教授

テーマ: 「1980 年代米国の科学技術政策における転換 (新たなイノベーション戦略) の意味」

共同研究助成報告会 2013 年 6 月 19 日 (水)

報告者: 加 藤 由 紀 子 経営学部准教授 伊 藤 かん な 非常勤講師

テーマ: 「読解と意見表明につなげるための連携授業コースデザイン開発」

新任教員研究発表会 2013 年 7 月 3 日 (水)

報告者: 藤 井 え り の 経済学部専任講師

テーマ: 「これまでの研究と今後の研究構想

— 生活保障の行財政システムのあり方に関する検討 —」

報告者: 崔 宇 経営学部専任講師

テーマ: 「過去の研究成果と現在の研究課題 — サステナブルサプライチェーン —」

報告者: 中 西 大 輔 経営学部専任講師

テーマ: 「これまでの研究と今後の研究課題 — 快楽的ブランド消費の読解 —」

### 学術講演会 2013 年 9 月 28 日 (土)

日欧シンポジウム「都道府県の役割の再確認」

講 師：アルト・ハヴェリ氏（フィンランド タンペレ大学 経済管理学部教授）

テーマ：「北欧の地方行政——福祉国家の地方における危機——」

### かがやきカレッジ（大垣市からの受託）

今年度は下記のとおり「生活と経済」（下記1~3および8）、「私たちの日常生活について考える」（下記4~7）を統一テーマとし、各回90分の講座を開催した。85名の申し込みがあり、各講座の受講者数は（ ）内のとおりであった。前期・後期ごとの皆出席者に対して、修了証を発行し、最終日に学長から対象者に手渡しをした。

#### 1 篠田 知之 経営学部講師

「never too late 体を鍛えるのに年齢制限はない！」 6月4日（火）（56名）

「ウォーク&ランのすすめ」 6月11日（火）（59名）

#### 2 佐藤 俊幸 経済学部教授

「わが国の株価はいかにして形成されてきたか（1）  
—— 株価形成の理論 ——」 6月18日（火）（66名）

「わが国の株価はいかにして形成されてきたか（2）  
—— わが国の株価形成の歴史的分析（1970年代までを中心に） ——」 6月25日（火）（59名）

#### 3 宇佐見 正史 経済学部教授

「大正バブル経済の時代（1）—— 第1次世界大戦と日本 ——」 7月2日（火）（59名）

「大正バブル経済の時代（2）—— 第1次世界大戦と日本 ——」 7月9日（火）（52名）

#### 4 中西 大輔 経営学部講師

「高くてもブランドを買ってしまうのはなぜか？  
—— その理論的検討 ——（1）」 10月1日（火）（53名）

「高くてもブランドを買ってしまうのはなぜか？  
—— その理論的検討 ——（2）」 10月8日（火）（56名）

#### 5 伊藤 嘉人 経営学部講師

「体育・スポーツにおける体罰・暴力問題について考える（1）」 10月15日（火）（45名）

「体育・スポーツにおける体罰・暴力問題について考える（2）」 10月22日（火）（39名）

#### 6 石坂 信一郎 経営学部教授

「最近の税制改正の動向—— 相続税を中心に ——」 10月29日（火）（53名）

「最近の税制改正の動向—— 寄附金税制を中心に ——」 11月5日（火）（59名）

#### 7 高橋 勉 経済学部教授（経済学部長）

「アベノミクスは、どんな『日本を、取り戻す。』のか？  
—— アベノミクスの基礎知識 ——」 11月12日（火）（62名）

「アベノミクスは、どんな『日本を、取り戻す。』のか？」

—その源流と日本経済の将来—

11月19日（火）（55名）

〈大垣共立銀行寄附講座〉

8 渡 邊 剛 共立総研主任研究員

「日本経済の現状とこれから」

7月16日（火）（62名）

9 瀬 瀬 光 元 共立総研主任研究員

「モノづくりの地で考える観光ビジネス」

7月23日（火）（56名）